

## 令和6年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 秋田県

農業委員会名： 秋田市農業委員会

## I 農業委員会の状況(令和6年4月1日現在)

## 1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和 5 年 7 月 20 日

任期満了年月日 令和 8 年 7 月 19 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	19	19
認定農業者	—	15
認定農業者に準ずる者	—	—
女性	—	3
40代以下	—	2
中立委員	—	2

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	29	29	5

## 2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	2,525
農業経営体数	1,998

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	2,186
女性	765
40代以下	108

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	487
基本構想水準到達者	—
認定新規就農者	28
農業参入法人	1
集落営農経営	53
特定農業団体	0
集落営農組織	10

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	8,240	618				8,860

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

## Ⅱ 最適化活動の目標

### 1 最適化活動の成果目標

#### (1) 農地の集積

##### ①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)		これまでの集積面積(B)		集積率(B)/(A)	
	8,860	ha	5,030	ha	56.8	%
課題	農業従事者の高齢化等による不耕作農地の増加や、耕作する農地の分散による作業効率の低下等が課題となっており、集落営農法人や認定農業者等担い手への農地の集積・集約化を図る必要がある。					

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

##### ②目標

農地の集積の目標年度	令和10年度	集積率	80%
今年度の新規集積面積	412 ha	農地面積(C)	8,860 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	5,442 ha	(目標)今年度末の集積率(E)=(D)/(C)	61.4%

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

### (2) 遊休農地の解消

#### ①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	23.2 ha	3.1 ha	20.1 ha
課題	長期にわたる米の生産調整(減反政策)による不作付地の増加、農業従事者の高齢化や担い手不足、地理的悪条件などにより、耕作されない農地が増加している。そのため、引き続き遊休農地の発生防止の呼びかけと早期発見に努める必要がある。		

#### ②目標

##### ア 既存遊休農地の解消

##### a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	28.8 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	5.8 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

##### b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	0 ha
--------------------------	------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	
-------------------------	--

##### イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.8 ha
---------------------------	--------

### (3)新規参入の促進

#### ①現状及び課題

現状	R3年度新規参入者		R4年度新規参入者		R5年度新規参入者	
	2	経営体	1	経営体	3	経営体
	2.1	ha	0.7	ha	1.3	ha
課題	高齢化や後継者不足により地域の農業を担う者が減少していることから、農業で自立しようとする意欲あふれる新規参入希望者への支援を行い、地域の実態に沿った担い手への育成を図っていく必要がある。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

#### ②目標

権利移動面積	R3年度	R4年度	R5年度	平均
	409.8 ha	443.0 ha	845.9 ha	566.2 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	56.6 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

## 2 最適化活動の活動目標

### (1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	17 人
		農地利用最適化推進委員の人数	29 人

### (2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数		3回
取組時期	取組項目	強化月間の内容
9～10月	②遊休農地の解消	利用意向調査配布月間： 利用状況調査(農地パトロール)の結果をもとに、対象者に利用意向調査を配布
10～11月	②遊休農地の解消	利用意向調査回収月間： 利用状況調査(農地パトロール)の結果をもとに、対象者から利用意向調査を回収
1～2月	①農地の集積	活き活き農業専科： 農地の集約化方策の検討や地域農業の将来像などについて地域ごとの話し合いを実施

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

### (3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数		1回	
開催時期	2月	相談会名	新規就農研修生との交流会
参加者数	6人	開催場所	秋田市園芸振興センター
相談会の内容	秋田市園芸振興センター新規就農研修生と地元農業委員・推進委員とのマッチングや就農後の経営についての相談等		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入  
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)